

あぶない のり方は やめよう!



ふたり
2人のり

ふたりは バランスを ぐずして
たおれやすい。ぜったいに やめよう。



すびーど
スピードきょうそう

すびーどの だしすぎは すぐに
とまれないので、とっても きけんだよ。



よこに ならんで 走らない

よこに ならんで 走るのは、
ほかの 人や 車の じゃまに なって
あぶないよ。



よる 夜は ライトを つける

よる 夜になると、まわりが 見えにくくなる。
かならず ライトを つけよう。

保護者の皆様へ

- ▶ 子どもへの交通安全教育は保護者の義務です。安全行動が習慣化するように、日常生活の中で繰り返し指導するようにしましょう。
- ▶ 子どもは友達と一緒に、大胆で危険な行動をとることがあります。2人乗り、競争、並進などは、事故につながりやすい大変危険な行為であることを理解させましょう。
- ▶ 夕方や夜など、周囲が暗くなってきたら必ずライトをつける習慣をつけさせましょう。ライトを点灯することは、前方がよく見えるだけでなく、ほかの歩行者や車の運転者に自分の存在を知らせる効果もあります。



じてんしゃ 自転車の ための いろいろな 道ろ



じてんしゃ 自転車 が 走る ことができる いろいろな 道ろ があるよ！



じてんしゃ どう 自転車道

じてんしゃ 自転車の ための 道ろ。 じてんしゃ 自転車は どちらの ほう にも 通ることが できる。



じてんしゃ れーん 自転車レーン

じてんしゃ 自転車は 青く められている ところを 走るよ。 通ることが できるのは 道の 左がわの レーンだけ。



じてんしゃ ほう どう 自転車歩行しや道

ある ひと 歩いて 人と 自転車の ための 道ろ。 ある ひと 歩いている人が ゆう先だよ。



じてんしゃ なびら いん 自転車ナビライン

じてんしゃ 自転車は 走る 場所と 向きを 教えてくれる 道ろの ひょうじだよ。



じてんしゃ 自転車にも かんけいする ひょうしきや ひょうじ

じてんしゃ 自転車は くるま 車の なか間。 交通あんぜんの ための ひょうしき・ひょうじを しっかり まもろう！ ほごしやと かくにん してね！

じてんしゃ 自転車は 入ることが できない 道ろ

つうこうど 通行止め
しや 車りよう 通行止め
しや 車りよう しん入きん止

じてんしゃ 自転車は 通ることが できない 道ろ

じどう車せん用
ほこう 歩行しやせん用

じてんしゃ 自転車は 通ることが できる 道ろ

じてんしゃ 自転車せん用
じてんしゃ 自転車および ほこう 歩行しやせん用

いちど 止まらなければ ならない 場所

いちじ 一時てい止
いちじ 一時てい止

じてんしゃ 自転車が おうだん できる ところ

じてんしゃ 自転車おうだんたい
おうだん歩道・ じてんしゃ 自転車おうだんたい

矢じるしの ほう 方こうに しか すずむことが できない 道ろ

いっぽうつうこう 一方通行
じてんしゃいっぽうつうこう 自転車一方通行

すぐに 止まれる はやさで 走る 場所

こう 行じよ
こう 行じよ

道ろ ひょうしきの しめす かん 間

はじめり
ちゆう 中
おわり

じてんしゃ 自転車が 入っては いけない 交さ点

つうじてんしゃ 通自転車の 交さ点しん入きん止

自転車を除く 軽車両を除く じてんしゃ はず で自転車が外れることもあります。



保護者の皆様へ

- ▶ 「一時停止」や「歩行者専用」など、自転車の守るべき道路標識や標示はたくさんあります。子どもとともに、近所にある道路標識・標示を確認して、意味を確認しておきましょう。
- ▶ 自転車も車両であることを強く意識させ、子どものころから道路標識・標示を確認する習慣をつけさせましょう。